

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速)第四回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月十八日(水曜日)午前十時
四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 田中 養達君

三好榮次郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 高橋元四郎君

松田 正一君 武知 勇記君

小池 仁郎君 土屋清三郎君

三田村甚三郎君 木村小左衛門君

片野 重脩君 東 武君

平井信四郎君 多木久米次郎君

原 惣兵衛君 石井 次郎君

同月十七日委員田中万逸君辭任ニ付其
ノ補闕トシテ松田正一君ヲ議長ニ於テ
選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務政務次官 小坂 順造君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律
案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ開會致
シマス——政府ノ提案理由ノ御説明ヲ
願ヒマス

○小川政府委員 米穀需給調節特別會
計法中改正法律案ガ此委員會ニ付セラ
レテ居リマス、此提案ノ理由ハ、本會
議ニ於キマシテ大藏大臣ヨリ御説明ガ
アリマシタガ、同ジヤウナ趣旨ヲ此處
デ御説明ヲ申上ゲテ置キマス、米穀法
ノ運用ヲ完カラシムル爲ニハ、現在ノ
米穀需給調節特別會計ノ資金デハ不十
分デアリマスカラ、其限度ヲ八千萬圓
ダケ擴張致シマシテ、之ヲ三億五千萬
圓トスルコトニシヨウト云フノデアリ
マス、尙ホモウ一ツハ、從來本會計ニ
於キマシテ、米穀ノ買入代金トシテ交
付スル米穀證券ハ、借入金ニ依ッテ之
ヲ償還スルコトト致シテ居リマスガ、
其借替ヲ認ムルコトヲ適當ト認メマシ

テ法律ヲ改正シタイト思ッテ居ルノデ
アリマス、サウ云フ趣旨ニ依ッテ茲ニ
改正案ヲ提案シタ次第デアリマス

○原委員 ソレデハ此内容ニ至ッテハ
別ニ御尋ネ致シマセヌガ、需給調節特
別會計案ト米穀法ノ改正案トハ、相關
的ノ關係ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、
全然切離シテモ宜シイノデスカ

○小川政府委員 法律ハ御存ジノ通り
別々ノモノデアリマスガ、米穀法ヲ運
用シテ行キマスニハ資金ガ要ルコトニ
ナリマス、其資金ノ關係ハ、米穀需給
調節特別會計ノ方デ賄ッテ行クコトニ
フコトデ關係ガ出來テ來ルノデアリマ
ス、只今申上ゲマシタヤウナ風ニ、其
資金ノ額ガ米ヲ買フトカ云フ上ニ於キ
マシテ關係ヲ持ッテ居リマスガ、モウ一
ツハ米穀證券デ買入レマシテ、ソレガ
年度末ニナリマスト償還シナケレバナ
ラスノデアリマスガ、償還ガ出來ナイ
時分ニハ借入金ニ代ヘテ居ッタノデア
リマスガ、借入金ニ代ヘタダケデハ十分
デナイカラ、其米穀證券ヲ借替ヘテ行
カウト云フコトガ今度ノ改正趣旨デア
リマス、隨テ此米穀法ト米穀需給調節
特別會計トハ勿論分レタ別ノ法律デア

リマスケレドモ、運用ノ上ニハサウ云
フヤウナ關係ヲ持ッテ居リマス

○原委員 今度ノ改正案ハ、吾々ノ田
中内閣時代ニヤッタノ違ッテ、斯ウ云
フ一ツノ基準ヲ立テナケレバ、大難把
ニ無茶苦茶ニ、無定見ニ買上ゲタリ、
賣ッタリスルコトハイケナイト云フ改
正案ヲ基礎ニシテ茲ニ法案ガ出來上ッ
タノデアリマスガ、此兩案ハ切離シテ
モ、別ノ問題デアルカラ、此法案ハ關
係ナシニ成立サシテ行クノデアルカ、
ソコダケヲ御伺ヒシテ置キタイ

○小川政府委員 原君ノ御質問ハ、私
ハ能クハッキリ吞込メテ居リマセヌ、此
米穀法ト米穀需給調節特別會計トハ、
茲ニ改正案ガ出ルト出ナイトニ關係ナ
ク、此二ツノ法律案ハ自然關係ヲ持ッ
テ來ル譯デアリマス、苟モ米穀法ヲ運
用シヨウトスレバ、資金ガ要ルノデア
リマスカラ、其資金ヲ調達シヨウト云
フ所デ、米穀需給調節特別會計ト云フ
モノガ出テ參リマスカラ、此米穀法ノ
改正ガアルトナイトニ拘ラズ、是ハ關
係ヲ持ッテ居ルト言ヘバ關係ヲ持ッテ居
ルト言ヒ得ルト思ヒマス、之ヲ切離ス
ト云フコトニナレバ法律ハ別々デアリ
マスカラ、サウ云フ意味ニ於テハ切離

スマデモナク斯様ナ統計ハ、年數ガ長クナレバナル程、稍、完全ニ近クナルノデアリマス、日本デハ遺憾ナガラ、日本銀行ノ、三十三年ヲ基礎トシテ、今日マデ三十數年間ヤッテ居ルノガ、一番長イノデアルカラシテ、完全トハ申サレヌガ、日本デアル中ノ物價指數、米價指數ヲ考ヘルトスレバ、先ヅ之ニ據ルヨリ外ニナイノデアリマス、學理的ニ申シマス、昨日モ申シマシタ通り「ベート」ヲ加ヘテ居ラヌヤリ方ハ、遺憾ナガラ完全デナイト云フ、一ツノ缺點ト申シテ宜シイノデアリマス、是ガ完全ニナラヌ一ツノ原因デアリマス、ソレカラ物價指數トシテ選ビマシタ品目ガ、歐米各國ニ較ベレバ少イノデアリマス、是モ平均ヲ得ルコトニ對シテハ、稍、完全トハ申サレマセヌ、併シ物價指數、米價指數ガ日本デハ如何ニナッテ居ルカト言ヘバ、比較的是ガ完全デアルト言フヨリ致シ方ガアリマセヌ、サウ致シマシテ、一面米穀調査會ニ於キマシテモ、率勢米價ニ據ルト云フコトガ反對ヲサレテ、相成ベクハ、生産費、生計費ダケデ行カウト云フ、委員ノ御意見モアリマシタ、併シ生産費、生計費ト云フモノガ、果シテ完全ニ調査ガ出來ルカト申シマス、稍、率勢米價ノ統計ガ完全ナラザルト同様ニ、生産費、生計費ノ調査モ完全ニ參リマセ

ス、日本全國ニ互ッテ、各地、各町村ニ行ッテ、生産費ヲ調べテ出スト云フコトハ到底參リマセヌ、是モヤハリ達觀デアリマス、殊ニ生産費ノ場合ニ於キマシテ、假ニ茲ニ生産費ト云フモノハ、一兩年掛ッテ調査ガ出來タトシマシテモ、其生産費ハヤハリ、平均ノ數ヲ出スヨリ外ニアリマセヌ、土地遞減ノ原則カラ見マシテ、所謂小作料ノ拂ハレヌ土地ガ一番生産費ノ掛ル所デアリマス、所謂限界地ニ於ケル生産費ガ一番高イノデアリマス、其限界地ノ一番高イモノヲ標準トシテ生産費ヲ見マスルト、非常ナ高イ生産費トナルデアリマス、之ヲ達觀シテ平均シタ生産費ヲ出ストスルト、恐ラクハ、其生産費ニ依ッテ價ハナイ所ノ土地モ相當多數ニ上ルコトヲ免レナイ、生産費ニ依ルト非常ニ宜イヤウニ吾々モ一時考ヘマシタガ、實際ヤッテ見ルト、ヤハリ平均デ出スヨリ致シ方ガナイノデ、其平均ハ地方ニ依ッテハ生産費ヲ價ハヌ場合ガ相當多ク生ズルノデアリマス、故ニ率勢米價ノ基礎タルベキ物價指數ガ、完全ノ域ニ達シテ居ラヌハ遺憾デアリマスガ、今後幾ラ調査シテモ、生産費ノ正確ナル數ヲ得ルコトハヤハリ困難デアリマス、此米穀法ノ建方ハ餘リニ一年ヲ通ジテ非常ニ暴落シタリ非常ナ暴騰ヲシテ、生産者ニモ消費者ニモ非常ナ

不利益、困難デ之ガ爲ニ生活ノ安定ヲ脅カシ之ガ爲ニ農村ノ農業ノ基礎ヲ危クスルヤウナ場合ハ避ケ得ラレルコトトシマシテモ、極ク精密ナ生産費ニ依ルト云フコトモ、同ジク困難デアルト云フコトヲ、大體ノ事情ヲ御諒察願ヒタイト思ヒマス

○原委員 生産費モ平均スレバ非常ニ困難デアル、斯ウ云フコトニナッテ來マルスト、一二年後ニハ確實ナ生産費ガ出來ルカラ、ソレニ依ッテヤルノダト云フコトデアリマスガ、是ガ又曖昧ナコトニナッテ來ルト云フ結論ヲ得ル、一面ニ於テ私ノ言フノハ、日本銀行ノ物價指數ハ明治三十三年以來ノ短日月デアリモット長イ平均デアッタナラバ、モット善イモノガ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ短イ長イデ此問題ヲ定メヨウト云フノデハナイ、私共ノ言フノハ例ヘバサウ云フヤウナ單純ナ平均算出法ニ依ッテヤルノガ宜イカ、ソレデナシニ總テ統計學者ガ此頃ヤカマシク云フテ居ル「ウエイ」ヲ見テ、之ヲ加減シテ算定ヲヤラナケレバナラスト云フヨウニ、ヤカマシク言フテ居ルノデアリマス、然ルニ農林大臣ガ、マア比較的是ガ善イト仰セラレルナラバ、私ハ敢テ算術的ノ議論ヲ致スノデアリマセヌ、唯問題ハ、後ニ殘ッテ來ルノハ何カト云フコト、例ヘバ茲ニ物價指數ト米

價指數トノ對照額ノ場合ヲ考慮シテ、サウシテ平均ヲ算出シタラ——結局私共ノ言フノハ何時モ同ジ議論デアリマシタガ、米價ト云フヤウナ非常ニ大量的ナモノニ對シテハ非常ナ不利益ニナルノデス、又例ヘバ十ノ割合ノモノト一ノ割合ノモノトヲ同ジヤウニ比較シテ、引下ゲテ行カレルト云フコトニナルト、其米價ハ非常ナ損ニナラウト思フ、サウ云フヤウナ、輕節ト米ト、一方ノ取引額ハ四億、一方ノ取引額ハ二千萬圓ト云フヤウナ、其十分ノ一、二十分ノ一ニモ當ラナイモノト同ジ率デ御ヤリニナッテ、サウシテ其處ニ出テ來タモノガ米價率デアリ、ソレガ率勢米價ニナルト云フヤウナ、杜撰極マル基礎ヲ以テ、將來米穀法ノ發動スル基準ニスル、今仰セニナッタノハ——メッタニサウ云フ風ナ非常ナ暴落暴騰ノアルヤウナ場合ニ、退引キナラヌ時ニヤルノダカラ、生計費其他ノ點ヲ細カク言ッテモ、結局生産費ト云フヤウナモノノ平均ヲ出シテ來ルト云フコトハ非常ナ困難デアルカラ、斯ウ云フモノハ稀ニヤルノダト云フヤウニ今仰セニナリマシタガ、稀ニヤルナラ尙更的確ナルモノデナケレバナラヌ、的確ナルモノデナケレバナラヌ所ノ完全ナ米價率、私ハ物價指數ガ不完全ダト云フコトハ——農林大臣ノ物價指數ノ其基準ガ不完全

ダト云フコトハ、率勢米價ノ基準價格
ガ即チ本法出動ノ基準價格ガ不完全ダ
ト云フコトニナツテ、基礎ガ不完全ダ
ト云フコトニナル、サウスルトサウ云フ
モノデ本法ノ出動ノ時機ヲ定メルト云
フコトハ、私ハ此位危險ナコトハナイ
ト思フ

○町田國務大臣 少シ私ノ申上ゲヤウ
ガ足ラヌ爲デアルカ、只今ノ御議論ニ
對シテ意見ノ一致スルコトノ出來ナイ
ノハ遺憾ニ思ヒマスガ、私ノ申上ゲル
ノハ斯様デアリマス、日本ニハ原君モ
御示シニナリマシタ東洋經濟新報ノ指
數モアリマスガ、是ハ近年始メタノデ
アリマス、ソコデ斯ウ云フモノ、統計
ハ、年數ガ長クナレバナル程稍、其數ガ
實際ニ近クナルコトハ申スマデモアリ
マセヌ、ソコデ日本銀行ノモノハ短日
月デアルガ爲ニ不完全ダト申シタノデ
ハアリマセヌ、日本デハ新聞社デ作ッ
居ル指數モアリ、雜誌社デ作ッ居ル指
數モアリ、商工會議所デ作ッ居ル指數
モアリマスガ、比較的長イ間ヤッテ居
マスノハ日本銀行ノ指數デアルカラ、
先ヅ之ニ重キヲ置ク、併シ日本銀行ガ
ヤッテ居ル指數ヲ學理的ニ完全ナモノ
ト申スコトガ出來ルカト言ヘバ左様ニ
參ラヌ點モアルガ、今日日本ニアル中
ハ、是ガ比較的宜シイト云フノデアリ
マス、不完全極マルモノヲ農林大臣ガ

ヤッテ居ルノハ何故ゾト逆ニ御尋ネ下
サレバ、私ソレニ向ッテ言葉ノ爭ハ致シ
マセヌガ、日本ニアルモノ、中デハ、
學理的ニ完全ニ參ラヌノハ遺憾デア
ルガ、比較的是ハ宜シイ、若シ物價指數、
米價指數ヲ取ルトスレバ、先ヅ之ニ依
ルヨリ外ハナイ、原君ハ斯ル不完全ナ
ルモノヲ本トシタト仰シヤルガ、率勢
米價ハ物價指數ノ平均カラ見タノデハ
アリマセヌ、即チ三十三年以後ノ米價
ニ於ケル指數ニ依ッテ、月々ノ米價ノ上
リ下リヲ見、之ヲ一年ニ集計シタモノ
ヲ以テ所謂最小二乘法ノ式ニ依ッテ之
ヲ直線ノニ直シタモノデアッテ、茲ニ率
勢米價ト云フノハ物價指數ノ平均ヨリ
モ、三十年間ノ趨勢ニ依ルト種々ナル
原因ニ依ッテ米價ダケハ平均數ヨリ常ニ
高イ、此高イ割合ヲ茲ニ加ヘタノハ米
價ノ「ウエイト」ヲ加ヘタノト同ジ結果
デアッテ、物價指數ノ平均カラ見レバ、
率勢米價ノ基礎トナルベキ米價ノ地位
ハ一割九分何厘約二割高イ相場ニ立
テアッテ、相當生産者ノ利益ヲ考慮シ
結果、率勢米價ト云フモノハ出來テ來
タ、ドウモ左様ニ致ス外ハナイ、今日
ノ場合はレ以上ニ完全ナコトヲ見出シ
得ラレマセヌ、生産費ノ調査ト云ッ
モ、學理的ニ正確ナ數字ハ容易ニ出
マセヌ、何レニシテモ是ハ通觀シタ數
字ヲ、出來ルダケ實際ニ近カラシメル

云フヨリ外ハナイノデアリマス
○原委員 此物價指數ハ比較的の不完全
デアルケレドモ、先ヅ是ヨリ良イモノ
ハナイト仰セニナリマシタガ、實ハ去
ル十四日大藏省所管ノ豫算第三分科會
ニ於テ、大藏大臣ハ我黨ノ松村君ノ質
問ニ對シテ斯ウ云フコトヲ御答ニナ
テ居ル、日本銀行ノ發表シテ居ル物價
指數ハ、是ハ實ハ不完全極マルモノデ
アル、米ヲ五トシテ輕節ヲ一トシテ居
ル、斯ウ云フモノヲ一緒ニシテ單純ナ
ル平均ヲ出シテ來タモノガ物價指數デ
アルト云フノハ非常ナ誤ガアルノデア
ルカラ、此物價指數ヲ基礎ニスル譯ニ
ハ行キマセヌ、斯ウ云フヤウナ御答辯
ニナツテ居ル、ソレデ私ノ質問ノ要旨
ハ、物價指數ガ完全デアアルカ不完全
デアアルカハ別トシテ、米價率ハ普通ノ物
價指數ヨリ上ニアルノデアアルカラト云
フ前提ヲ置イテ居ラレマスガ、米ハ米
トシテノ生産費ノ關係、其他總テカラ
出テ來タ値段段ガアル、是ハ事實デア
ルサウ云フヤウナ値段段ヲ基礎ニ、安イ輕
節ト一緒ニ合シテ、サウシテ其處マデ
引下ゲラレテ來テ居ル、茲ニ米ナラ米
ノ物價指數ガ定マッテ居ル、ソレダカラ
米價率ト云フモノハ普通ノ物價指數ヨ
リモ高値ニアルノデハナイカ、隨ッテ米
價率ハ高値ニナル、斯ウ云フヤウナ基
礎ノ御話ヲシテ居ルノデアアリマス

ラ、基礎ニ米ト輕節ト云フヤウナモノ
ヲ一緒ニシテ米ノ値段段ヲ出スト云フ、
基礎觀念ニ付テ誤ガアリハシナイカ、
日本銀行ノ物價指數ガ完全デアアルヤ
否ヤハ度外ニシテ、此算定法ニ依ル算定
ガ誤ッテ居リハマセヌカ、隨ッテ此算定
方法ガ間違ッテ居ルト云フコトヲ御認
メニナル以上ハ、是ハ不完全デアアルト
申スヨリ外途ハナイデハアリマセヌ
カ
○町田國務大臣 私共ノ考ヘテ居ルコ
ト、今原君ノ御述ベニナツタ御意見ノ
間ニ少シ違ガアルヤウニ思ヒマスガ、
出來ルダケハ御諒解ヲ得テ、其違ヒヲ
解イテシマヒタイト思ヒマス、今原君
ハ所謂不完全ナル日本銀行ノ物價指數
ヲ基礎トシテ率勢米價ヲ見出シタト云
フヤウナ御話ニナリマスガ、ソレハド
ノ點デアリマスガ、率勢米價ヲ作ル、
所謂米ノ趨勢値ト稱シテ居リマスガ、
趨勢値ニ對シテハ、日本銀行ノ物價指
數トノ關係ヲ御覽ニナルコトハ、何處
カニ吾々ト考違ヒガアルヤウニ思ヒマ
スガ、左様デハアリマセヌカ、日本銀
行ノ米價指數ニ依ッテ割出シタノガ趨
勢値デアリマスカラ、趨勢値マデ行ク
間ハ、物價指數ハ關係ガナイデハアリ
マセヌカ
○原委員 米ナラ米ヲ入レテ物價ノ總
計算ヲシタノガ物價指數デアリマス

ラ、ソレハ勢ヒ關係ガアルデハアリマセスカ

○町田國務大臣 日本銀行ニ於ケル米價ノ指數ヲ本トシテ計算シタノデアッテ、趨勢値ヲ見出スマデノ間ハ、日本銀行ノ物價指數ハ關係ナク計算サレル譯デアリマス

○東郷委員 今ノ質問ニ關聯シテ御許ヲ願ヒタイ、只今農林大臣ハ、米價ノ趨勢値ヲ見出スマデハ日本銀行ノ一般物價ハ趨勢値トハ關係ハナイト云フ御話デアリマスガ、サウ云フコトハナイト思ヒマス、農林大臣ガ御示シナリマシタ率勢米價ノ説明書ヲ見マシテモ……

○町田國務大臣 東郷サンノ御發言中デスガ、私ノ申シタノハ斯様デアリマス、率勢米價ニ對シテハ、日本銀行ノ物價指數ハ率勢米價ヲ出ス時ニ初メテ計算ニ入ル、併シ今日ノ米價ガ一般物價ノ趨勢カラ見レバドンナ地位ニアルカト云フ場合ヲ計算スル、趨勢値ヲ見出スマデニハ物價指數ノ關係ガナイ、率勢米價ヲ作ル時ニ初テ茲ニ關係ガ生ジテ來ル

○東郷委員 先キノ御話トチットモ變リマセスガ、サウデナイノデヤナイカト思ヒマス、私モ能ク分リマセスカラ、能ク御説明ヲ願ヒタイ、詰リ米價ノ趨勢値ヲ出ス前ニハ米價率ヲ出ス、米價

率ト云フノハ、米價指數ヲ一般物價指數デ割ッタモノデアリマスカラ、一般物價指數ガ一・〇〇〇デアル場合ニ、米價指數ハ如何程トナルト示スモノデアルト、チャント説明ニ書イテアルノデスカラ、米價率ヲ出ス第一歩ハ一般物價指數ニ關係ガアル、是ガ基礎ニナツテ米價率ガ出テ居ル、是ハ間違ガナイト思ヒマス、説明ニサウ書イテアル、其點ハ如何デアリマスカ

○町田國務大臣 私ノ申スコトガ分ラナカッタカ知ラスガ、例ヘバ斯ウナリマスネ、一般物價ノ所謂最小二乘法デ米價ノ趨勢値ガ出來マスネ、ソコデ其趨勢値ノ割合デ、今日ノ物價指數ヲ割ッテ見テ、一・一九幾ラト云フモノガ出マスネ、ソレガ適ッテ、明治三十三年ニ「スタート」シタ時ノ米價ニ掛ケテ、初テ今日ノ率勢米價ナルモノガ生ズルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、斯ウ仰シヤレバ無論關係ガアルトハ申サレマス、趨勢値ハ一般物價ノ趨勢ニ對シマシテ、米價ダケノ趨勢ガ幾ラニナツテ居ルカト云フコト、一・幾ラト云フ形ガ出ル時ニハ、初テ物價指數トノ關係ガ生ズルノデアリマス、其點ハ勿論左様デアアルコトハ申スマデモアリマセヌ

○東郷委員 今ノコトハ繰返サナクテモ宜イト思フ、私ノ申上ゲルコトハ、農林省カラ御示シニナツテ居ル印刷物

ヲ、其儘申上ゲルノデスカラ誤リガナク、即チ此率勢米價ヲ出ス先ヅ第一歩トシテ米價率ヲ出ス、其米價率ト云フモノハ、米價指數ヲ一般物價指數デ割ッタモノデス、ソレガ基礎ニナルノデスカラ、是ハモウ繰返シテ申上ゲル必要ハナイ、初カラ關係ガアリマス、デスカラ昨日來ノ農林大臣ノ御説明ニ依リマス、日本銀行ノ一般物價指數ニハ色々ノ缺點ガアル、斯ウ云フコトヲ御認ニナツテ居ル譯ナンデス、シテ見レバ其色々ノ缺點ノアル一般物價指數ヲ、基礎トシテ出發シタ所ノ率勢米價其物ハ、是ハ完全ナモノデヤナイ、是モ原君トノ質問應答ノ結果、農林大臣ハ御認ニナツテ居ル譯デス、デスカラ是ハ是レ以上申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、私ハ立チマシタ序デスカラ、是ハ原君ノ質問ヲ進メル上ニ於テモ非常ニ重大デアアルカラ、モウ少シ御許シヲ得マシテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、今言ッタヤウニ率勢米價ヲ出スニハ先ヅ米價率ヲ出ス、サウシテ其米價率趨勢値ト云フモノヲ、更ニ計算スルコトニナツテ居リマスガ、御示シニナリマシタ此説明書ニ依リマスルト、米價率ト云フモノハ、一定ノ傾向ヲ以テ直線的ニ年ト共ニ進ムモノト認メラレル、斯ウ云フ説明ニナツテ居リマス、私共ハ高等數字ハ甚ダ分リマセスカラ、御説明ヲ

伺ッテモハッカリシナイカモ知レマセヌケレドモ、米價率ト云フモノガ、一定ノ傾向ヲ以テ、直線的ニ年ト共ニ進ムモノダト云フ御斷定ノ基礎ハ何處ニアリマスカ、之ヲ承リタイト思ヒマス、是ハ農林大臣自ラノ説明ハ御無理ト思ヒマスガ、ドナタカ専門ノ方ガ御分リニナレバ、私達素人ニ分ルヤウニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○石黒政府委員 先程カラ原サンノ御尋ノ日本銀行ノ物價指數ノ問題、大臣ノ御答ヘニナリマシタ點ニ付テ少シ補足ヲ致シマス、率勢米價ヲ出シマスル前ニ、今東郷サンノ仰シヤッタヤウニ、米價率ト云フモノヲ出ス、米價率ヲ出スノニ東郷サンノ仰シヤルヤウニ、日本銀行ノ物價指數ト云フモノヲ使ヒマス、何故ナレバ今御讀ミニナリマシタヤウニ、米價率ト云フモノハ要スルニ米價指數ノ一般物價指數ニ對スル割合デス、即チ物價指數ヲ以テ米價指數ヲ割ッタモノデアリマシテ、ツマリ一口ニ申セバ、一般物價指數ガ一デアル場合ニ、米價指數ガドウ位デアアルカト云フコトヲ示スモノデアリマスカラ、其相手トシテ一般物價指數ト云フモノヲ使フ、使ヒマスガ併シソレガ輕節ヲ含ンデ居タリ、色々ナ工業品ヲ含ンデ居ルカラ米價指數ヲ引下ゲルト云フコトニハナラナイ、ソレトノ比較ガドウナル

カト云フコトヲ見ル、割合ヲ見ルノデスカラ、ソレニ依ッテ引下ゲラレテハ居ラナイ、ソコハ御分リニナッテ居ルコト、存ジマスガ、關係ガアルト云フノハ比ヲ出シタト云フコトノ、相手方ニ使ッタト云フコトダケノ關係デス、大臣ガ言ハレタ率勢米價ヲ出ス時ニ使フト云フノハ、是ハ又實際ノ率勢米價ト云フモノヲ出ス時ノ算法ト致シマシテ、十一月ノ物價指數ト云フモノガ分ルノデアリマスカラ、ソレヲ使ッテ出スト斯ウ云フコトニ言ハレタノデアリマス、サウ云フ意味デゴサイマスカラ、其事ヲ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ東郷サ

ノデアリマス、色々ナ形式デヤッテ見タノデアリマスガ、是ハ直線ノニ進行スルモノデアルト見、隨テソレヲ直線式ノ最小二乘法ヲ以テヤル事ガ宜イト云フコトニ認定致シタ譯デアリマス、其根據ト云フモノハ、色々細カイモノヲ此處ニ持ッテ來テ御覽ニ入レ、バ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、只今持ッテ居リマセヌシ、私カラ十分ニ御納得ノ行ク程申上ゲル力ヲ持ッテ居リマセヌ

○東郷委員 只今農務局長ノ御話ノ中ノ前段デアリマスガ、米價率ヲ出ス場合ニ、一般物價指數ヲ使ッテ、是ハ事實ダ、併シ是ハ唯比率ヲ出ス對手ニ使ッタダケダカラ、少シモ其不完全ナ事實ガ米價率ニハ影響シナイト云フ御説明デスガ、是ハ少シ亂暴ナ御斷定デハナイカト思ヒマス、一般物價指數ト云フモノガ、少クトモ公正ナル意味ニ於テ非常ナ缺點ガアルナラバ、ソレヲ一ツノ比率ヲ出ス材料ニ使ッタ結果ニ影響シナイ筈ハナイ、若シソコニ農林大臣ガ昨日來御認メニナッテ居ルヤウナ缺點ガアルト云フナラバ其缺點ハ此米價率ニモ現ハレテ來テ居ナケレバナラヌ、是ハ私素人デモ斷定シテ差支ナイト思ヒマス、此點ハ農務局長ノ御説明ニ私承服出來マセヌ

ル、是ハ斷定デアリマス、其傾向、即チ趨勢値ト云フモノハ……ダカラ最小二乘法ニ依ッテ算出スルノヲ適當ト認メタ、是モ斷定デアル、ソコデ其斷定ガ果シテ正シイカ正シクナイカト云フコトハ、是ハ私達ノヤウナ貧弱ナ數學ノ頭腦デハ一寸判斷ガ出來マセヌ、是ハ失禮ナガラ農林大臣、農務局長モ、大シテ私ノ頭腦ト御變リガナイノデハナイカト思ヒマス、サウスレバ要スルニ此斷定ガ、所謂専門的ノ立場カラ見テ間違ッテ居ナイト云フコトヲ吾々ガ納得スル程度ニ此問題ハ慎重ニ取扱ハナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマス、實ハ私ハ米穀調査會ノ委員會ノ委員ノ一人ト致シマシテ、調査會ニ於テ此問題ニ付テ他ノ委員諸君ガ、ソレコソ此處デ説明申上ゲル迄モナク非常ナ日數ヲ費シテ政府當局ニモ御尋ネニナッタ、アノ際私ハ、私ノ氣分ヲ申上ゲレバ、是ハ連モ自分ノ頭腦デハ數學的ニハ理解ガ出來ナイカラ、要スルニ國家ノ機關ガ責任ヲ以テ是ガ良イノダト御判斷ニナッタナラバ、ソレヲ信頼シテソレハ直線ノニ行クモノダ、隨テ直線ノニ行クカラ最小二乘法ヲ以テ算出シテ趨勢値ヲ出スノガ適當ナモノダ、即チ國家ノ機關ヲ信頼シテ私默ッテ拜聴致シテ居ッタノデアリマス、所ガ最近ニナッテ此問題ニ對シテ色々専門ノ學者

ガ長年間ヲ通ジテ見ルト云フト、或ル一定ノ方向ニ向ッテ上進シテ居ル、其傾向ハ直線ノニ進ンデ居ルモノト、認定ヲスルト云フコトニナッテ書イテ居ルガ、其根據ハドウダ、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ認定ノ問題デアリマス、之ヲ直線ノニ進行ナリト見ルカ、或ハ曲線ノニ進行ナリト見ルカ、其算法トシテ最小二乘法ガ宜シイカ、或ハ複式ノ複利計算ヲ以テヤルノガ宜シイカト云々ヤウナ、算定ノ技術ノ問題ハアルヤウニ聞イテ居リマス、私モ東郷サント同ジヤウニ是ハ専門デゴザイマセヌノデ、十分ニ御説明申上ゲルダケノ力ヲ持ッテ居リマセヌガ、色々ヤッテ見タ

ノデアリマス、色々ナ形式デヤッテ見タノデアリマスガ、是ハ直線ノニ進行スルモノデアルト見、隨テソレヲ直線式ノ最小二乘法ヲ以テヤル事ガ宜イト云フコトニ認定致シタ譯デアリマス、其根據ト云フモノハ、色々細カイモノヲ此處ニ持ッテ來テ御覽ニ入レ、バ或ハ宜イカモ知レマセヌガ、只今持ッテ居リマセヌシ、私カラ十分ニ御納得ノ行ク程申上ゲル力ヲ持ッテ居リマセヌ

○東郷委員 只今農務局長ノ御話ノ中ノ前段デアリマスガ、米價率ヲ出ス場合ニ、一般物價指數ヲ使ッテ、是ハ事實ダ、併シ是ハ唯比率ヲ出ス對手ニ使ッタダケダカラ、少シモ其不完全ナ事實ガ米價率ニハ影響シナイト云フ御説明デスガ、是ハ少シ亂暴ナ御斷定デハナイカト思ヒマス、一般物價指數ト云フモノガ、少クトモ公正ナル意味ニ於テ非常ナ缺點ガアルナラバ、ソレヲ一ツノ比率ヲ出ス材料ニ使ッタ結果ニ影響シナイ筈ハナイ、若シソコニ農林大臣ガ昨日來御認メニナッテ居ルヤウナ缺點ガアルト云フナラバ其缺點ハ此米價率ニモ現ハレテ來テ居ナケレバナラヌ、是ハ私素人デモ斷定シテ差支ナイト思ヒマス、此點ハ農務局長ノ御説明ニ私承服出來マセヌ

アタリノ書イタ物ヲ見マシテモ、又人ノ話ヲ聞イテモ、多少私疑問ガ出テ來タト云フノハ米價率ガ一定ノ傾向ヲ以テ直線ノニ進ムト云フ斷定ハ、是ハ獨斷ダ、隨テ直線ノニ行ケバコソ、ソコニ最小二乘法ト云フモノヲ適用シテ算出シテ差支ナイガ、直線ノニ行クト云フ事ガ一ツノ「ドグマ」デアルト云フコトデアレバ、最小二乘法カラ出シタ趨勢値ト云フモノモ同ジク「ドグマ」ニ陷世上デ聞イタヤウナ譯デアリマス、ソコデ私ハ此點ハハッキリシテ置カナケレバナラヌ、吾々自身ガ此重大ナ法案ヲ審議スルノニ、高等數學ナルガ故ニマアサウナンダラウト云フ態度デ之ニ賛否ヲ表スルトシタナラバ、吾々ガ分ラナイトスレバ、國民全體モ同ジヤウニ分ラヌデハナイカ、率勢米價ト云フモノハ譯ノ分ラヌモノダサウダガ、何ダカ喧マシイ高等數學デ出シタモノダ色此法ノ運用ノ上ニ疑惑ヲ生ゼシムル、斯ウ云フコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、デアルカラ出來ルコトナラバ、吾々素人ガ成程ト納得スルヤウナ説明ガ此處デ拜聴出來ルナラバソレヲ拜聴シタイ、又政府當局トシテモ、ソレヲナサッタ方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、説明ヲ聞イテ分ラナ

私ハ少クトモ此方面ノ權威者ヲ御集メ
ニナルナリ、或ハ御集メニナラヌデモ
何カノ方法ヲ以テ御尋ニナルナリ、意

見ヲ徴セラレルナリシテ、サウシテ御
キメニナツタモノデハナイカト、斯ウ今

マデ考ヘテ居^ッタノデアリマス、サウ云

フヤウナ意味デ米穀調査會ニ於テモ、

私ハ國家ノ機關ヲ信賴シテ、分ラヌ頭

デ色々御尋シテモ結局分ラヌト思ッテ

其結論結果ノミヲ信賴シテ居ツタノデ

アリマスガ、先程申シマシタヤウニ、

ソレ以來、此問題ガ世間ニ現レテ以來、

色々ノ意見ヲ聽クト、餘程重大ナ問題

デアル、吾々が此重要ナ法案ヲ決定ス

ルノニ、唯分ラヌ爲ニ、高等數學ダカラ

ソシナヤウナモノダラウト云ツタヤウナ

態度デ行ク譯ニ行カヌ氣ガスルノデア

リマス、デスカカラ今御聞キシタ譯デ

スガ、農林省ニハ立派ナ専門家が居ラ

レルニ相違ナイガ、生計費生産費ノ項

目ヲ御キメニナルニハ、日本國ノ斯道ノ

大家ヲ御集メニナ^ツテ御研究ニナ^ツタ、

其態度カラ言へバ、此重大ナル問題ヲ

御決定ニナルニハ當然其筋ノ權威者ニ

意見ヲ徴セラレルコトガ適當デハナ

カッタカト思ヒマス、ソレデ御聞キシタ

ノデアル、權威者ニ御尋ニナリマシタ

力、或ハ農林省內ノ技術家ノ意見ノミ

ニ依^ツテ、是ハ御決定ニナ^ツタノデアリ

マスク、此點ヲ確メテ置キタイ

七

○石黒政府委員 農林省トシテ決定ヲスルト云フコトハ、東郷委員ノ御承知ノ通りニ、米穀調査會デ以テ決定ニナリマシタモノニ依ッテヤリマシタノデアリマス、其前ニ率勢米價ト云フモノヲ研究致シマシタ際ニハ、私共ノ局ニ於キマシテ經濟學ノ専門家竝ニ統計學ノ専門家ノ技師ノ諸君ヲ煩ハシマシテ、立案ノ際ニ參加シテ貰ヒマシテ特色意見ヲ徴シタノデアリマス

○東郷委員 サウスルト此問題ノ決定ノ場合ニハ、省内ダケノ知識ヲ御集メニナツタ、斯ウ云フ譯デアリマスカ

○石黒政府委員 決定ノ際ト仰シヤイマスカラ、サウ云フ風ニ申上ゲタノデアリマスガ、研究ヲ致シマスル際ニ、是ハ一兩年前デゴザイマスガ、帝國大學ノ經濟ノ方ノ教授ノ土方君、京都大學ノ統計ノ方ノ教授ヲヤツテ居ラレマシタ、物價ニ付テ相當ノ見識ヲ有ッテ居ラレル沙見君ト云フヤウナ人ニ來テ貰ヒマシテ、サウシテ研究ニ參加シテ貰ッタコトガアリマス

○原委員 只今ノ點デ農林大臣ノ仰セニナツタコトガ愈々明白ニナツテ來タト思フノデアリマス、私ノ言フタ物價指數ト云フモノ、基礎算定ノ基準ノ根本ニ誤ガアルト云フコトニ對シテ、農林大臣ハ、米價率ガ一般ノ物價指數ヨリ二割ノ高値ニ在ルノダカラ、此標準デ

行クト云フノダカラ大體宜イデハナイカスウ云フヤウナ仰セガアッタニ對シテ、私ハ其根本ノ基礎ノ物價指數ト云フモノ、算定ガ、安イ輕節ヲ使フト云フ例ヲ出シテ御尋シマシタラ、サウシタラ今ノ御答ガアッタノデアリマス、ソレハ東郷委員カラ御尋シマシテ大體御分リニナツタラウト思ヒマスガ、サウ致シマス、私ガモウ一ツ突込ンデ米價率ハ一般ノ物價指數ヨリ値ガ二割モ高イ所ニアルノダ、斯ウ云フコトヲ農林大臣ガ仰セニナツタカラ、此點ニ對シテ私ハ尙更ニ質シテ見タイコトガアルノデス、ソレハドウ云フ譯カト言フト、此處ニモ書イテアリマス通り、米物價共通ノ騰貴原因ト、米獨特ノ原因トヨリ變動スルモノト考ヘルコトガ出來ルト云フノデ、初メテ米價率ハ米價指數ヲ一般物價指數デ割ッタモノデアルカラ、物價共通ノ原因ヲ一應米價カラ取去リ、主トシテ米獨特ノ原因カラ、米價變動ノ様ヲ現ハシテ居ルコトニ考ヘル、斯ウ云フコトヲ明白ニ書イテアリマスカラ、此點ハ誤ガナイト致シマシタラ、先刻申シマシタ物價指數ヲ、日本銀行ノ五十六種ノ中ノ、米ノ値ノ高イ價格ノモノヲ、今申シマシタ安イ輕節ト一緒ニシテ、サウシテ物價指數ガ出テ來タノダ、ソレナラバ米ト云フモノハ多量デアアルノデアルカラ、ソレヲ一

般ノ安イモノト平均ニシタラ、米ト云フモノハソレダケ値段ガ引下ゲラレテ來テ居ル、然ルニ農林大臣ハ、米ト一般物價ト較ベテ二割違フ、即チ二割高イノダカラ宜イト言ハル、カ分リマセヌノデス、何處マデモ根本ノ算定法ヲキチントシテ來テ、サウシテ米ハ一般ノ物價指數ヨリ是ダケ低イ、ダカラ斯ウシテ釣上ゲヨウヂヤナイカト云フヤウナ工合ニ行クナラバ宜イノデスガ、根本基礎ガ初メ引上ゲラレテ來テ置イテ、即チ米ト輕節トヲ一緒ニシテ米ノ率ヲ下ゲテ置イテ、サウシテ米獨特ノ價格ノ變動ノ原因ヲ御認ニナツテ米價指數ヲ出シテ、一般物價指數ト較ベテ二割高値ニアルヂヤナイカ、ダカラ宜イヂヤナイカト云フ論據ハ何處カラ出テ來ルノカ

○町田國務大臣 先刻ノ私ノ申上ゲヤウハ、私ハ率勢米價ヲ見出ス時ニハ、例ヘバ米穀年度デ申シマス昨年ノ十一月ノ日本銀行ノ物價指數ヲ、率勢米價ヲ出ス時ニハ直接ニ使フノデアアル、其意味デ私先刻申シテ置キマシタガ、東郷サンノ先刻御話ノ通り、物價指數ハ關係ガ無イト云フノデナイコトハ東郷サンノ御話ノ通りデアリマス、其點ハ私ノ申上ゲヤウガ足ラナカッタカモ知レマセス、同時ニ只今ノ御尋ノ、日本銀行ノ公ニシテ居ル特價指數ハ、俗

ニ統計學者ノ申シマス「ウエイト」ガ入ッテ居ラス、即チ輕節ト米ト同ジヤウニ取扱ッテ居ルト云フ、此統計ノ仕方ニハ吾々モ遺憾ガアリマス、併シ最近ノ方法ニ依ッテ各種ノ商品ノ「ウエイト」ヲ加ヘ、且又日本銀行ノ五十六種デアリマシタカト云フノヲ、モット精選シタル數百ノ商品ヲ加ヘテヤレバ、平均シタル數ヲ得ルコトニナルト思ヒマス、ソレガ様ニ參ッテ居ラスノハ遺憾デアリマス、ソレヲ基礎トシテ、米價率ノ割合ヲ出ス所ノ數字ニ使フカラシテ、何處マデモソコニ完全ニナラス要素ガ入ッテ居ルト仰シヤル點ハ御話ノ通りデアリマス、併シ現在ノ所デハ此方法ガ一番完全ニ近イモノデアッテ、其他ニ方法ヲ執ル途ガアリマセス、若シ何カ此米穀法ノ運用ヲ精確ニシ、運用ヲ誤ラスヤウニスルニハ、斯様な物價指數ニイカト云フ御示シヲ下サレバ大變仕合セデアリマスガ、是ハ何人ガ考ヘテモ、今ノ日本デハ是ガ比較的完全ト申スヨリ外ニアリマセス、同時ニ原君ノ御話ノ通り、物價指數ノ中ニ米價モ入ッテ居ルヂヤナイカ、ソレガ輕節ト同様ニ取扱ハレテ居ッテ「ウエイト」ヲ加ヘテ居ラスノハ不完全ダト云フノデアレバ、完全ニナツテ居ラスコトハ昨日來私ノ申上ゲタ通りソレハ事實デアリマス

○原委員 農林大臣が此率勢米價ト云

フモノハ不完全ダト云フコトヲ御認メニナラレテ、尙且ツ是ヨリ外ニ宜イモノガアルナラ別段、是ヨリ仕方ガナイ、斯ウ云フ仰セハ二通りニ取レルノデス、即チ此基準價格ヲキメテ、斯ウ云フコトヲシテ米穀法ヲ作ラナケレバナラナイノダ、サウシテ見ルト此方法ヨリ無イデヤナイカ、斯ウ云フ仰セニ付テ申シマスガ、ソナナ事デシテ、ソナナ不完全ノ事ヲシテ一體此米穀法ヲ拵ヘヨウト云フコトガ間違ッテ居ルデヤナイカ、デスカラ左様ナ不完全ナモノヲ基礎ニシテ、尙ホ之ヲヤラナケレバナラヌト云フ理由ハ何處カラ來ルノデス

○町田國務大臣

ソレハ提案ノ理由ニモ掲ゲマシタ通り、當局者が責任ヲ執ッテヤルト申シマシテモ、大體ノ米穀法出動ノ凡ソノ場合ガ之ニ依ッテ規定サレテ居マシテ、ソレヲ何十何圓何十錢ニスルト云フヤウナコトハ、率勢米價モ考ヘマス、縱シ生産費ノ調査ガ完備セヌ前デモ、大體ノ生産費ハ此位グラウト云フ狀態モ加ヘマス、物價ノ指數、經濟狀態ニ依ッテ、物價ガ非常ニ下落シテ居ル、昨午カラ今日ニ掛ケテノ一般物價指數ガズット下ッテ居ル時ニハ、米價モヤハリ經濟狀態ノ自然ニ鑑ミテ、是モ參酌シマス、併シ結局ハ當局者ガ米

穀委員會ニ諮ッテ、凡ソ世ノ中ノ情勢ニ

於テ此邊ヨリモ下レバ農家ハ大變困ル、此邊ヨリ上レバ消費者ノ方デ困ルト云フコトヲ達觀シテヤリマスノデ、大體ノ目的ハ率勢米價、生産費ト云フモノヲ目安ニ置イテ考ヘルト云フヨリ外ニ途ハアリマセヌ、之ヲ要スルニ米穀法運用ノ範圍ハ、大體ニ法律デ規定シテ居マシテ、五圓トカ七圓トカ云フ上リ下リハ、之ヲ自然ニ委シテ置イテ、大ナル變化ガアッタ時ニ國家ガ出動シテ、相當多額ノ金ヲ費シテモ救フト云フコトニシマシテモ、生産費デ參ッテモ、率勢米價デ參ッテモ、ピッタリト學理的ニ一錢一厘ノ過チガナイト云フ譯ニハ參リマセヌ、達觀シテヤリマス、要スルニ達觀論デアリマス

○原委員

今ノ御言葉ニ依リマス、要スルニ達觀論デ行クト云フコトデアッタナラバ、結構ナコトデアリマス、達觀論デオイデニナルナラバ、從來田中内閣當時ヤッテ居タト同ジク、常識デヤルノデハナイカ、所謂常識、斯ウ云フ程度ナラバ、社會ノ情勢デ此程度デ買フンダ、賣ンダト云フコト、何等變リガナイ、其當時反對シテ、達觀論デハイカス、常識論デハイカス、苟モ米穀法ガ出動スル以上ハ、何處マデモ法的基礎ニ觀念ヲ置カナケレバナラヌト云フコトガ、此生計基準價格ヲ御拵

ヘニナッタ根據デアル、之ヲ御出シニナ

ッテ不完全デアルト云フコトニナッテ來タナラバ——達觀論デアルト云フナラバ、何ヲ標準ニシテ此改正案ヲ作ラレタノデアアルカ、達觀論デ基準價格ヲ定メテ見タケレドモ、生計費或ハ生産費ノ點モ、基準價格ノ根本タル率勢米價ノ點モ、結局不完全デアアルカラ、達觀論デアルト云フコトニナルト、尙ホ更ニ本法ヲ御改正ニナルト云フコトハ何等意味ヲ爲サヌコト、思ヒスガ、此點ハ如何デスカ

○町田國務大臣

要スルニ米穀法ニ依ッテ基準ガ出來タ、所謂生産費、生計費ノ基準、又一方ニハ率勢米價ト云フ基準ガ出來タ、併シ此基準ヲ、政府ガ米ヲ買入レル場合ハ、生産費ト云フ基準ト、率勢米價ト云フ基準、此二ツヲ按配シテ、其間ニ於テ當局者ハ達觀ヲシテヤルモノデアリマス、ソレカラ國家ガ所有シテ居ル米ヲ賣ル場合ノ基準ハ、大體ニ於テ家計費、一方ニハ率勢米價ヲ基準トシマス、併シ此基準ヲ如何ニ組合シテ行クカト云フコトハ、其當時ノ自然ノ經濟狀態ヲ達觀シテ、當局者ガ責任ヲ以テ其範圍ヲ定メルノデアリマス

○西村委員長

皆サンニ御諮リヲ致シマスガ、如何デスカ最早……

○原委員

私ハモウ一ツダケ止メヲ刺

シテ置カナケレバナラヌノデアリマ

ス、ソレハドウ云フ點カト申シマス、達觀論バカリデハイカヌト云フノデ、町田農林大臣モ法律デ定メテ、是ガ基準價格ヨリ是ダケ出タラ斯ウ、是レ是レノ場合ハ斯ウスルノダト云フノガ此法ノ精神デアリ、米穀法運用ノ基礎デアアル、斯様ニ法律デ一定ノ機構ヲ御定メニナッタナラバ、大體ノ達觀論デ此法規ニ御定メニナッタコトヲ離レルコトガ出來ナイノガ法律デアリマス、此點ハ如何デスカ

○町田國務大臣

前ニモ申シタ通りデアリマス、此米穀法ハ出動ノ基準ガ定メテアルノデアリマス、生計費、生産費ヲ基準トシ、一方ニハ率勢米價ヲ基準トシテ居ルガ、併シ米ヲ賣出ス場合ニ家計費ト率勢米價ト二ツノ基準ヲ如何ニ組合ハシテ定メルカト云フコトハ、經濟上ノ大體ヲ觀測シテ、達觀シテヤルノデアリマス、併シ大體ノ範圍ハ、率勢米價ト生計費、生産費ト云フ基準ノ埒内ニ止ッテ居リマス、此埒内ノ動ク範圍ハ相當廣イ、八圓、十圓ハ此埒内デ動クコトガ出來マセウ、其間ハ經濟上ノ自然ノ傾向常識ヲ以テ判斷シテ、當局者ガ之ヲキメル、斯ウ云フ譯デアリマス、其意味ノ達觀デアリマス、埒内デアリマス、併シ埒内デハ餘程大キナ動ガアルト云フコトハ御承知置キヲ

願ヒタイ

○原委員 時間ガ來マシタカラ、是デ
保留致シテ置キマス

○西村委員長 ソレデハ本日ハ是デ散
會致シマシテ、明日ハ午後一時カラ開
キマス

午後零時十一分散會